



戦争玩具に

関連して

牛島 義友

近頃戦争玩具が教育界やジャーナリズムに話題を投げている。たしかに子供たちはこんなおもちゃで童心がかきみだされ好戦的な人間になつては大変である。私も結論としては戦争玩具には反対である。

しかしなぜ戦争玩具はいけなかつたかという事を考えてみると、簡単には答が出せない点がある。先づ小さい時から鉄砲やピストルやタンクなどのおもちやで遊んでいると、平和の敵である好戦的な人間になるかどうかという発達心理的問題は早急に結論が下せない。今日平和を熱愛している人の幼児時代にはこんな玩具は一つも持つた事がなかつたとは言えないであろうし、幼時の遊戯どころか幼年学校、士官学校で徹底的な軍隊教育をうけた人からも平和主義者は出ている。戦争中には特攻隊を志願

した人の中からも熱烈な平和論者が現れている。一個の性格者が形成されるためには種々な要素が錯綜しているので一つの要素だけで説明するのは大胆すぎる。鉄砲で遊んでいた子供が軍人になるだろうと考えるのは、電車の玩具で遊んでいる子供は電車の運転手になると同じ位の確率をもつて正しいかもしれない。

遊びという生活環境が子供の人間形成にそれ程強い影響を与えてくれれば、人間教育も楽である。孟子の母の様に子供の生活環境さえ配慮してやれば立派な人間がどん／＼生産されてくる。しかし同時に生活環境がそれ程決定的な影響を与えるとすれば恐ろしい事であり、今日の日本の様な生活の悪条件下においては、子供の教育をする勇氣も失われるかもしれない。

発達心理学的には戦争玩具の影響が果して人間形成にどれだけの影響を与えるかは簡単に言明の出来ない事であるが、社会心理学的には明瞭な関係がみられる。子供たちが刀や鉄砲で遊んでいる風景を大人たちが眺めると好戦的な雰囲気を感じるし、子供たちが戦争ごっこばかりしたり、タンクや飛行機の画ばかり描いているのを見ると、大人の心理もその空気の中に引入れられていく。又子供自身も刀の玩具をもつてついでに人を斬る真似をした

くなるし、ピストルをもつとギャングの真似をしたくなる。戦争ごつこをしてしていると弱い者をいじめるのは当たり前だという気持ちになつてくる。この玩具は子供や大人の現在の生活や遊びの様式に直接影響する事は明瞭な事実である。この現在の社会心理が将来の子供の生活にどう影響するかは前の問題で簡単に断言出来ないが、現在の生活心理に強い影響を与える事は明瞭である。こういう空気が昂つてくると、再軍備賛成の声がこゝから生れて来るし、更に宣戦布告の挙国一致の態度さえ生れるであろう。この意味で好戦的緊闘気をじよう成する一要素としての戦争玩具はあくまで排除したいものである。

しかし現実の社会心理を左右するのは一個の玩具だけではなく。むしろ緊迫した政治情勢、ジャーナリズムにおける煽動的論調、空に飛ぶゼツト戦闘機、街を轟進する戦車の方が遙かに重要な要素である。戦争玩具だけを追放すれば好戦的な社会心理が消えると思うのは子供だましである。弱い者いじめである。

弱い者といつたのは、子供と玩具業者を指す。悪い玩具があらわれると人々はすぐそれを玩具業者の罪にする傾向がある。いかにも悪い玩具をつくつた責任は問われねばならない。しかし何故彼等がこんな玩具をつくるか

という原因を考えねばならない。彼等は童心に毒を注いでやるうと思つたり。軍国主義復活のためにこんなおもちゃを作つてゐるのではない。彼等は主義や教育理想のために商売をしているのではない。売れるものは作り売れないものは作らないだけの話である。よい玩具がうれなれば勿論喜んで製造する。しかしよい玩具だと言われて拵えさせられたものも、売れなければ製造を止めてしまふ。売れるものならばどんな物でも平気で作り出す。玩具を左右するものは業者ではなく実は購買者にあることを忘れてはならない。今迄つくられた玩具の中にはなか／＼よいものもあるし、組立玩具などわれ／＼は極力推奨してきた。しかし今日は殆んど影をひそめて見出すことが出来ない。日本の玩具界は立派な教育的な玩具を過去において作つたし、作る能力ももつてゐる。これを引出すか否かは購買者側にあるのだ、親たちは子供の幸福と健全な成長を希い、細かな配慮をもつて玩具を選ぶならば、店頭には優良玩具が並ぶ様になるし、親たちが放任的に気まぐれな買い方をし、又同時に小さな購買者たちが瞬間的な興味のまゝに好きなものを買う様にしておけば、不良玩具や戦争玩具が汎濫する。